



ながはた

長畑ひろのり News vol.082

市政報告 08月号

(C) 2013 Kohama Studio



総務省の委託団体に決定

6月30日「分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン策定事業」に関する委託予定団体の決定報告があり、14団体の1つとして選ばれました。選ばれるためには下記5つの観点から評価が行われ、結果、国から5,500万円の委託金が本市に入る予定です。

詳細は News vol.074 に見事に四條畷市が選ばれました。

- (1) 地域エネルギー資源の有効活用・再構成
- (2) 事業推進体制の構築、関係者の合意形成
- (3) 地域への経済効果
- (4) モデル性
- (5) 事業化可能性・継続可能性

今後は、この国からの予算を活用し、平成26年度中にはより具体的なプランを構築していく予定です。この事業が実現しますと、本市は災害時におけるエネルギーの自立を図る事ができ、**災害に強いまちへと変わります。**
※ 事業の全体像は下記画像をご参照下さい。



6月定例議会における一般質問

前号では、6月議会に行なわれた私の一般質問の報告をさせて頂きましたが、今号では残り3つを報告させて頂きます。

・市制50周年に向けた“市史”発刊の編集状況について

【長畑質問】平成21年6月定例議会で、50周年に向けての市史を作って頂きたいと要望した。なぜなら、本市の市史第一巻は昭和45年の市制施行を記念して昭和47年に刊行されている。つまり、四條畷市史となっているが、内容はあくまで四條畷町史であると考えている。

- ①市史を作成しようと決定した経緯は。
- ②市史編纂の進捗状況は。

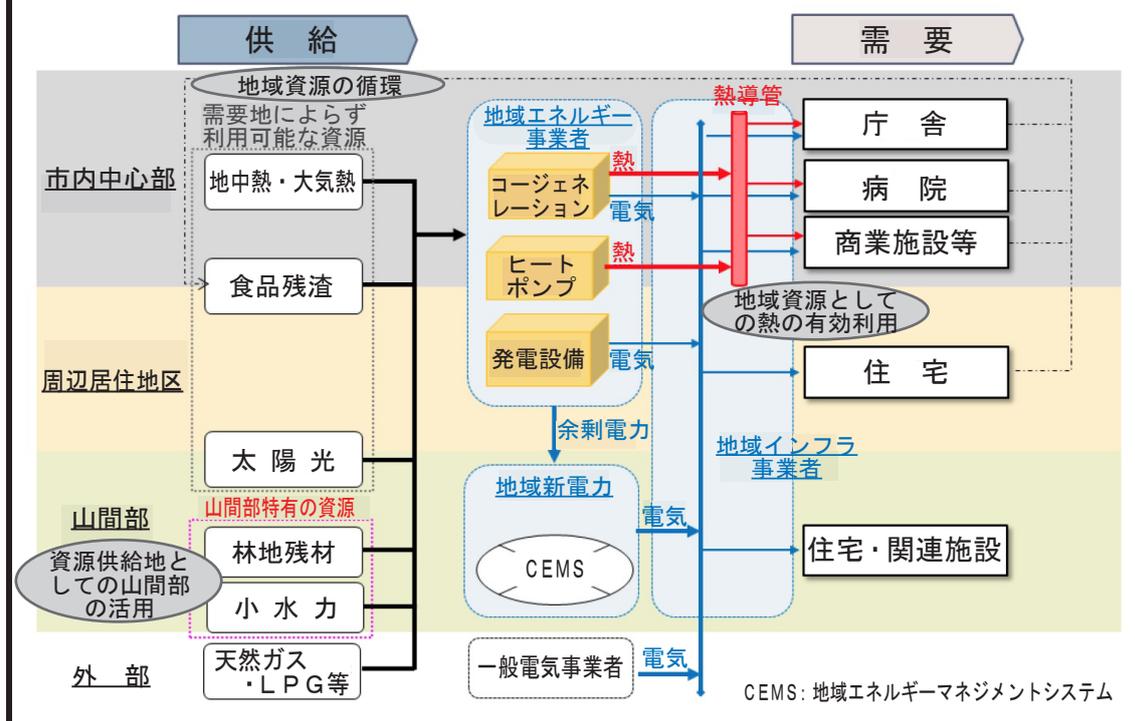
【行政答弁】昭和47年の市史第一巻発行後、多くの埋蔵文化財発掘調査を行い、数々の発見や記帳な財産として、後世へと確実に伝えることが必要との認識。

- ①過去の議会における議員の議論（※1）に基づき策定した。
- ※1 私の平成21年6月定例議会における一般質問による
- ②5人の学識経験者と教育長で組織する市史編さん委員会で

管理を行ない、市制45周年にあたる平成27年度内に「考古編」を刊行する予定。その冊子は、皆様の手取りやすく気軽に読んで頂ける本を作成したい思いから、各時代の挿絵や写真をオールカラーで掲載し、500ページにまとめる予定。
また、平成29年度から31年度迄を研究執筆期間と定め、市制50周年には「民俗編」を刊行する予定。

「分散型エネルギーインフラ」プロジェクト

— 事業の全体像 —



・インフルエンザとノロウイルス対策について

【長畑質問】インフルエンザとノロウイルスの対策について、学校、市職員、給食センターにおいて何を行なってきたのか。

【行政答弁】ノロウイルスは、予防啓発、現場での緊急事態の対策、関係者への研修実施を行なっている。インフルエンザは、手洗いとうがいの徹底。流行れば、市職員にはマスクの着用や公共交通機関での通勤を控えるように指示し、学校では学級閉鎖などの対策をする。

【長畑意見】ノロウイルスについて、出来ることは全て行なっていると思える。しかし、徐々に冬の感染症では無くなっているため年間を通じて注意することを要望する。

【長畑質問】厚生労働省は、ホームページにおいて、“空気が乾燥すると気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保つことも効果的です”と書いている。そこで、本市として加湿器、もしくは、加湿機能付き空気清浄機を置く考えはないか。

【行政答弁】既に、加湿機能付き空気清浄機を公立保育所3所に26台、民間園6園に66台、子育て支援センター&くすのき園に5台、ふれあい教室に12台、公立幼稚園に16台を配置している。また、ボランティア団体より5台の寄付があり、四條図書館、田原図書館、保健センター、市民課前の待ち合い、子ども政策課窓口へ配置している。しかし、学校現場に関しては未対応。

【長畑意見】教育現場は、国や府の補助金等も使えるものがないか常にチェックして頂きたい。また、加湿器を置くことで病院へ通う人が減れば、市にとって支出が減る。その辺りの計算も行ないながら対策に取り組むよう要望する。

・忍ヶ丘砂線における歩道の植栽について

【長畑質問】毎年5月になると、忍ヶ丘駅から国道170号までの市道では、歩道の植栽が伸び放題となっている。歩道を歩く人から車は見にくく、車からも歩道を歩く人が見にくい状態で危険。そこで、植栽を手入れする時期と回数は。

【行政答弁】業者にて実施しており、年に2回、6月と11月に低木等の剪定を行なっている。また、地域住民の要望があれば、直営にて適時対応している。

【長畑質問】入札時期に問題があるのでは。もっと早い時期に入札を行ない、剪定期を早めることは出来ないのか。

【行政答弁】今回の入札は5月28日に行なわれた。来年度は新年度労務単価が決定し次第、設計に入り4月末頃の入札結果（業者決定）をめざしていく。



【長畑意見】この忍ヶ丘砂線は、雁屋畑線と全体の道路幅員は16mと同じでありながら設計が古い。違いは、雁屋畑線の車道は7mで歩道は両端に4、5m。それに対し、忍ヶ丘砂線の車道は9mで歩道は両端に3、5m。歩道には1、5mの植栽が両道路ともあるので、歩道の有効幅は、雁屋畑線が3m、忍ヶ丘砂線が2mとあまりにも違いすぎる。車道とは広ければ良いと言うものではなく、この忍ヶ丘砂線のように、中途半端に広過ぎるために不法駐車が起こったりと、交通の妨げになることが多々ある。

今後は、車道を雁屋畑線並に狭くし、その分、歩道を広げること検討しなければならないと考える。しかし、それが無理であるならば、自転車道を車道内に設けるのも歩行者の安全を考えれば良いかも知れない。それよりも、まずは全体に植栽をもっと低木にする、もしくは、歩道の切り下げた部分、つまり、道路の進入路部分の周囲だけでも植栽を低くすることは行なって頂くよう要望する。

